



狭山ヶ丘通信

本校の実情をお知らせし、教育問題、社会問題等に関する本校校長小川義男の見解などをお読みいただくため「狭山ヶ丘通信」を発行いたしております。また、本校WEBサイトにてバックナンバーもご覧いただけます。 <https://www.sayamagaoka-h.ed.jp/> 〒358-0011 埼玉県入間市下藤沢981 TEL:04-2962-3844 FAX:04-2962-0656 狭山ヶ丘学園 広報部



狭山ヶ丘高等学校
狭山ヶ丘高等学校附属中学校
校長 小川義男

ウクライナ戦争と日本の若者たちの明日への憂慮

スターリンは、レーニン存命中の共産党中央委員全員を殺害した。その数は三桁になるかもしれない。彼は「日ソ中立条約」を二方向的に破り、敗戦寸前の日本の「大東亜戦争」に介入してきた。敗戦の混乱期に、満州等でロシア兵によって凌辱殺害された日本人女性は、膨大な数に上る。

また、日本人兵士は戦時国際法などを完全に無視したスターリンの命令で、不法に拉致、拘束され、ロシア深奥部まで連れてゆかれ、極度の寒さや栄養不足の中で強制労働に従事させられた。寒さや栄養不足の中で半数以上の者が死んだ。シベリア抑留である。

今、それがウクライナの地で繰り返されているのかもしれない。

世界のかなり多くの国の人々は、ウクライナの人々への同情、共感を抱き、様々な形で支援を行っている。

支援はするが、実戦に参加してはいない。実戦に参加するのはウクライナ人のみである。これは、戦争の世界戦争への拡大を防ぐため、やむを得ないかもしれないが、しかしこれは、考えてみれば奇妙な戦争である。戦うのはウクライナ人のみで、死ぬのもウクライナ人のみである。やはりこれは、どう見ても奇妙な戦争である。我々は、賛意を表し、支援しつつも、少し疑い、迷ってもみる必要があるのではないだろうか。

日本は自由主義陣営の一員としてウクライナを支援しているが、支援陣営の一員としては、ロシアに最も近い位置にある。

北朝鮮の権力者が、ロシアと共に、我が国の北方領土に核ミサイルの基地を作るなどと語つたらしいが、あり得ぬことではない。そこから北海道に上陸してくることも、十分に可能である。

核戦争や生物兵器戦争、殺人ガス等による化学戦争を避けるため、ウクライナ一国の戦いを支援し、二国のみで、大国と戦わせるといふのは、本当にこれで良いのであろうか。

わが日本は、歯舞、色丹、国後、択捉四島を、七十年以上にわたってロシアに不法占拠され続けている。頭にくるが、ウクライナ戦争で、ウクライナを支援すると共に、日口の国際関係を滑らかに維

持することの大切さも、見落としはならないのではあるまいか。世界の相当数の国に、核兵器が拡散している気配である。第三次世界大戦を防ぐことは、本当に可能なのであろうか。

国際関係での平和維持をめぐって、国連の重要性は言うまでもないが、国連における大国の拒否権の濫用により、国連そのものが機能不全に陥っている。

もともと「国連」は、第二次世界大戦の折に、日独伊の枢軸国と戦うために結成された連合国 United Nations を、そのまま用いたものであり、

国連とは連合国の意味なのである。その中に紛争の原因が内包されているのだから、これを考え直す以外に世界平和の維持などは、もともと難しい。ここで、国連のあり方そのものを、考え直さなくてはならないのではないか。

国連内の大国が、世界平和に逆行するような動きをしている中で、世界平和を維持することは、難しい。

ロシアの経済や軍事に圧力をかけることは必要だが、ヨーロッパとは異なり、我が国はロシアを衣帯水のかなたに置く、「近隣国家」である。制裁にも限りがある。

石油、ガス等の輸入を止めて兵糧攻めにするのもよいが、このような手段で二国を締め上げるには限度がある。

日本はウクライナに深く同情

しつつも、戦争当事国ではないことも忘れてはならない。また、ロシアも、かつての社会主義圧制のもとにある国家ではなく、大統領公選制の、民主主義を志向しつつある国家であることも忘れてはならない。

私は、我が国も必要とする石油、ガス等は、購入してもよいのではないかと考えている。日本は戦争当事国ではないし、ロシアに近接している国家である。その国際的交流の歴史も長い。ロシアに最も近い大国の一つとして、ある程度交流は維持すべきだと私は考えている。

「難民受け入れ」も、その数が大きくなれば、国家に及ぼす影響も大きい。「アメリカは世界の警察官ではない」と言い続けた数代のアメリカ大統領の政治姿勢、アフガニスタンからのアメリカの拙速な撤兵、それらが相まってロシアの侵略的姿勢を招いた可能性もある。

マスコミは難民救済の実情に明け暮れているが、私は、それに共感しつつも、ロシアに最も近い大国としてのわが国には、支援の在り方にも、ひと工夫が必要なように思えてならない。

他国は、常にそれほど、あてにならないのではない。

日本には日本なりの、平和主義、自国擁護の姿勢が求められているように思えてならないのである。

遠くまで行こう!

2022年度
学校説明会・個別相談会のお知らせ



web版は
個人情報保護の観点から
生徒氏名・顔写真は
掲載していません。



※今後の状況により、学校説明会の日程や内容、詳細情報が変更になることがあります。最新情報は本校ホームページをご覧ください。※

高等学校見学説明会

本校ウェブサイトよりご予約いただくと、当日スムーズにご案内できます。(予約なしの当日参加も可能です。)

第1回 **7月24日** (日)
10:00 開始
スクールバスの運行があります

- ・学校長挨拶並びに本校概要説明
- ・入試要項説明・質疑応答・個別相談(予約制)

	実施日	開始時間
第2回	8月28日(日)	10:00開始
第3回	9月18日(日)	
第4回	10月16日(日)	
第5回	11月27日(日)	



※個別相談会に参加される方は、事前に本校ウェブサイトから相談用紙をプリントアウトして記入してお越しください。

高等学校 入試個別相談会

本校ウェブサイトよりご予約いただくと、当日スムーズにご案内できます。(予約なしの当日参加も可能です。)

※個別相談会に参加される方は、事前に本校ウェブサイトから相談用紙をプリントアウトして記入してお越しください。

	実施日	開始時間
第1回	7月31日(日)	9:00開始
第2回	9月25日(日)	
第3回	10月30日(日)	
第4回	11月19日(土)	14:00開始

	実施日	開始時間
第5回	12月10日(土)	9:00開始
第6回	12月17日(土)	
第7回	12月26日(月)	



スクールバスは運行いたしません

付属中学校見学説明会

本校ウェブサイトよりご予約いただくと、当日スムーズにご案内できます。(予約なしの当日参加も可能です。)

第1回 **7月18日** (月・祝)
10:00 開始
スクールバスの運行があります

- ・学校長挨拶並びに本校概要の説明
- ・入試要項説明・質疑応答

	実施日	開始時間
第2回	9月11日(日)	10:00開始
第3回	10月15日(土)	14:00開始
第4回	11月5日(土)	
第5回	12月3日(土)	



付属中学校 オープンスクール

小学生対象 **8月20日(土)** 10:00から開始
要WEB予約

校内見学ツアー

入試個別相談

体験授業

※詳細は本校ホームページにてお知らせします。

学校見学説明会当日は
2駅よりスクールバスを
運行いたします。



駐車スペースがないため、
車でのご来校はご遠慮ください。
詳細は本校WEBサイトをご覧ください。

HP 狭山ヶ丘学園 検索



狭山ヶ丘学園公式ウェブサイト 狭山ヶ丘のリアルタイムを発信!

狭山ヶ丘学園ウェブサイトでは、学校説明会・個別相談会の予約といった入試情報もちろん、学園の日々の姿をお届けする「SAOKA journal」(学園ブログ)や、学校紹介動画など学園をよく知っていただけるよう日々情報発信を行っております。ぜひ、リアルタイムな学園の様子をご覧ください!

中等部・高等部
ともに、
同じアドレスです



sayamagaoka-h.ed.jp

2022年度の 大学入試を 振り返って

進路指導部長
市成 敏明



本校の2022(令和4)年度大学合格実績は、国公立大学・大学校合計37名(東北大学、筑波大学、東京外国語大学、東京農工大学、千葉大学、埼玉大学、東京都立大学、埼玉県立大学など)、私立大学早慶上理合計33名、GMARCH合計157名などの輝かしいものとなりました。私立大学の中では特に早稲田大学、上智大学、立教大学の合格者数が伸びており、また2年連続で医学部医学科の合格者を輩出することができました。この他の詳細な合格実績に関しては、本校ホームページをご

覧ください。また、様々な困りごとのために「新入試」にも2年連続で多数の合格者を輩出することができました。

2022年度

合格体験記

2022年
大学入試合

東京都立大学 入学 法学部 法学科

他に合格した主な大学
明治大学 政治経済学部 経済学科
中央大学 経済学部 経済学科



web 版は
個人情報保護の観点から
生徒氏名・顔写真は
掲載しておりません。

僕は東京都立大学に進学しました。私立文系志望だったため、最初はGMARCHを目指していましたが、共通テストの結果が想定よりも良く、先生に背中を押されたのが東京都立大学の受験を決めたきっかけでした。そのため、受験を決めたのが1月中旬、2次試験の約1か月前という時期でした。もともと国公立大学を受験することを考えていなかったため、進学するかはかなり悩みましたが、公立大学であるという点と、広大で緑豊かなキャンパスの雰囲気が自分に合っていると感じたことから、進学することを決めました。私立文系志望の人も、学びたい内容などに合致すれば、3教科で受験可能な国公立大学に挑戦することができます。

僕の受験の反省点は、より高いレベルを本気で目指さなかったことです。僕は勉強が得意というわけではなかったため、最初は早稲田大学を目指していたもののGMARCHに合格すれば十分だと思い勉強を続けていました。その結果、早稲田大学には不合格となりました。今振り返れば、最初から全力で早稲田大学を目指していれば、合格することができたかもしれません。

私の経験から受験生にアドバイスできることは、メンタルを大切にしてほしいということです。勉強時間や模試の結果よりも、メンタルが最終的な結果につながります。どれだけ自分を信じていられるか、ということです。

どんなに結果が出なくても、“自分なら絶対受かる”と信じて勉強を頑張れば、自然と勉強を続けることができますし、志望校対策も抜かりはなくなるはず。自分を信じる気持ちを一年間持ち続けることが受験を乗り越える重要な点です。

たとえ、志望校と現在の自分の実力とがかけ離れていても関係ありません。やる気がないと勝ち取れるものも勝ち取れないので、諦めずに頑張ってください。

京都産業大学 入学 現代社会学部 健康スポーツ社会学科

他に合格した主な大学
名桜大学
人間健康学部 スポーツ健康学科



web 版は
個人情報保護の観点から
生徒氏名・顔写真は
掲載しておりません。

私は1年生の頃から体育系の国公立大学に進学したいと思い、筑波大学、鹿屋体育大学を志望していました。野球部に所属していたので、現役の間は隙間時間を活用して勉強時間を確保していました。学校の休み時間や登下校の電車での移動時間は単語帳を使用していました。高3の7月半ばに引退してから自分の弱点を見つけるために問題集に取り組みと、ほとんどの教科で基礎が欠けているとわかり、夏休み中から9月頃までは基礎と特に苦手だった古典と世界史に力を入れていました。10月半ばからは11月後半は公募推薦に向けた勉強をしており、公募推薦が終わってからは共通テスト対策に力を入れて問題を数多く解き、形式に慣れるようにしました。共通テストが終わると、私立大学の勉強もしつつほとんどの時間を国公立の2次試験対策に力を入れて過ごしていました。

受験において一番大切だと思ったことは簡単に第一志望の大学を諦めないことです。第一志望を諦めて大学のレベルを下げたところで第二志望の大学に受かる保証は無く、レベルを下げることで伸びるはずの学力も伸びません。受験が近づくにつれて不安も大きくなるため、一人で抱え込まずに気軽に相談できる相手を持つことも非常に大切です。特に一般受験を考えている強化部生は今のうちから隙間時間を大切に勉強をする習慣をつけておくとうれしいです。また、基礎と苦手科目の克服は早いうちに終わらせておいた方がよいです。そのためにも、自分に合っている勉強方法と参考書を見つけて一つの参考書を徹底的にやりこんでください。

ときどき模試の結果がうまくいかずに落ち込んでいる人がいますが、試験当日を公式戦だとすれば模試なんて練習試合のようなものです。その模試の結果から強みと弱点を分析して公式戦で最大の力を発揮できるように頑張ってください。勉強と部活動の両立で大変な人もいますが、自覚を持ち悔いが残らないように頑張ってください。

皆さんが来年の4月に笑って大学生としての第一歩を踏み出せることを期待しています。

青山学院大学 入学 理工学部 情報テクノロジー学科

他に合格した主な大学
法政大学 理工学部 電気電子工学科
東京電機大学 工学部 情報通信工学科



web 版は
個人情報保護の観点から
生徒氏名・顔写真は
掲載しておりません。

僕が青山学院大学を志望した時期は高校3年の9月頃でした。将来、加速的に進化を続けるIT関係の仕事に就きたいと考えていたことから、理工学部の情報テクノロジー学科を選びました。

僕は、大体高校2年の1月頃から受験を意識して勉強を始めました。その当時はまだ部活もあったので平日は3時間、休日は6時間くらい勉強をしていました。それから夏休みまでは毎日10時間くらい、ひたすら基礎固めをし、夏休みは共通テスト対策の問題を解き、10月頃から2次試験の勉強を始めました。そして冬休みから再び共通テスト対策の問題を解き、共通テストが終わってからは受験する大学の過去問を沢山解いていました。

大学受験の経験を通して皆さんに伝えたいことが3つあります。まず1つ目は、しっかりと睡眠をとり、体調には十分気をつけてほしいということです。僕は、受験勉強をしつつも毎日必ず7時間は睡眠をとっていました。睡眠時間を削ってでも勉強を頑張ろうと考えている人もいるかもしれませんが、僕はそれをするよりも夜はしっかりと睡眠をとって、その分起きてる時に集中して、メリハリをつけて勉強をした方が肉体的にも精神的にも楽だと思っています。2つ目は、目標は高く持ち続けて、最後まで諦めないでほしいということです。たくさん勉強しても、模試を受けた時の調子次第では、思うような結果が出ないこともあると思います。しかし、勉強をしていれば必ず力はついていくはずですから、どんな結果でも諦めることなく第一志望の大学を目指してください。3つ目は、学校の授業を絶対に疎かにしないしてほしいということです。塾や、自分で普段たくさん勉強してるから、学校の授業は頑張らなくていいということは絶対にありません。狭山ヶ丘の先生方はとても良い授業をしてくださっているため、自分の授業への向き合い方次第で得られるものは大きく変わってくるはず。実際僕も、青山学院大学に受かったのは、大部分は普段の授業のおかげだと感じています。だから普段の授業も全力で集中して取り組んでみてください。

大学受験は先が見えず、大変なことも沢山あります。しかし、それを乗り越えた先にはひと回りもふた回りも成長した自分があるはず。皆さんの第一志望合格を心から祈っています。

さい。
 そのような2022(令和4)年度大学入試を振り返ってみると、困難に見舞われた入試だったように思います。まず、いわゆる「2年目の大学入試だったこと」です。例えば大学入学共通テスト科目を迎えたわけですが、大方の予想通り2年目の共通テストの科目で大幅に難化しました。本校生徒に与えた衝撃も大変なものでした。そして、「コロナ禍入試」2年目の大学入試だった

ことです。昨年度に引き続き、各大学の入試において、試験科目の変更などのイレギュラーな対応が多くありました。大学入試の本格化とオミクロン株の流行の時期が重なっていたため、感染の不安がつきまとう大学入試となりました。

そのような困難に直面しても、本校生徒は最後の最後まで諦めず、全力で戦い抜きました。前述の輝かしい合格実績がそれを物語っています。今一度、本校生徒に敬意を表したいと思います。

年度
合格実績

国公立
37名

東北大学、筑波大学、東京外国語大学、
東京農工大学、千葉大学、埼玉大学、
東京都立大学、埼玉県立大学など

早慶上理
33名

GMARCH
157名

慶應義塾大学 入学

文学部 人文社会学科

他に合格した主な大学
上智大学 経済学部 経営学科
明治大学 経営学部 経営学科



web 版は
個人情報保護の観点から
生徒氏名・顔写真は
掲載していません。

私が慶應義塾大学文学部を志望した理由は、大学のカリキュラムに惹かれたからです。慶應義塾大学文学部では入学時の学科が皆共通で、大学2年に進級するタイミングで17個の専攻に別れるため、1年間しっかりと自分と向き合い興味のある学問を探ることができます。そこに興味を持ち、志望しました。

受験勉強においては得意科目で差をつけることを意識しました。私は得意科目と苦手科目がはっきりしていたため得意科目をとくに伸ばそうとしました。得意であった英語に関しては夏前までに基本的な参考書を何周かして、とにかく基礎を完璧にして、夏からは主に音声のついた長文問題集を買い、問題を解き終えた長文を音声を聞きながら繰り返し読む勉強をしました。その勉強のお陰で英文を英文のまま解釈することができるようになり、速読につながりました。一方、苦手であった世界史に関してはとにかく落とすにはいけない問題を確実に取ることを意識しました。発展的な知識をつけるよりも教科書を重視し、熟読して問題集などを使ってアウトプットするサイクルを繰り返し、基礎的な問題は確実に答えられるようにしました。また自分の受験には小論文が必要であったため、勉強とは別に、日頃から様々なことに興味を持ち、小論文に使えるネタを増やそうにしていた。

これから受験をする皆さんに言いたいことは勉強の質を重視してほしいということです。もちろん量も大事ですが、ただ闇雲に勉強時間を増やすのではなく、自分に合った勉強法を模索し確立することが、周りのライバルとの差をつける上で大切なことだと思います。はじめのうちは先生などの意見を参考にし、そこから模試の後などに自分の勉強について振り返り、改善することを通して自分に合う勉強法を見つけてほしいです。私は欠かさず計画を立てていました。思いついたことからただ勉強をしても確実に点を伸ばすことはできません。そこで私は3ヶ月の勉強計画を大まかに立て、そこから毎朝その日やることを書き出してから勉強していました。そうすることで自分がおこなっている勉強内容もわかりやすくなり、その日自分の課題なども改善しやすくなり、自分に合う勉強法を見つける手助けになったと思います。

大学では幅広いジャンルの学問を自分で選び学ぶことができるので、一つのジャンルにとらわれず様々なことに触れ、高校生活で学んだことを土台にさらに濃い大学4年間を過ごせるように頑張ります。

東北大学 入学

工学部 化学・バイオ工学科

他に合格した主な大学
東京理科大学 理学部 応用化学科
明治大学 理工学部 応用化学科



web 版は
個人情報保護の観点から
生徒氏名・顔写真は
掲載していません。

受験生として私が意識していたことは、勉強の効率を高めるように工夫することです。私は怠惰な性格なので、勉強量では他の受験生に勝つことが難しいと感じ、勉強の効率を重要視しました。勉強効率を高めるために、私は二つのことを実践しました。

一つ目は、勉強する環境を整えることです。勉強環境を良くするために、私は学校の自習室や進路室、図書館、カフェなどの人の目がある場所でよく勉強していました。勉強以外の行動が心理的に制限されるので、集中して勉強できました。自宅では暗記や復習などの負担が少ない勉強をしていました。こうすることで、集中力散漫な状態で勉強して、理解した気になるという事態を回避できたのだと思います。

二つ目は、問題に対する理解を深めることです。のために、私は問題の解説をよく読み、過程まで納得できるようにしていました。少しでもわからない記述があったら、放置せずに納得できるまで考えるか、友達や先生に質問していました。また、公式や解答の方針はただ暗記するのではなく、それを使う場面や理由と一緒に問題演習を通して習得していました。このようにすることで、初見問題でも問題の特徴を捉えて、適切な記述ができるようになったのだと思います。

受験を終えて、私は計画を立てることの重要性を感じました。志望校に合格するためには、過去問を解いて問題の傾向を分析し、対策する必要があります。しかしながら、私は長期的な勉強計画を立てることができず、過去問を疎かにしていました。私立大学の過去問を解くべきである共通テスト後の時期に、後回しにしていた教科書を焦って勉強して、過去問をほとんど解いていませんでした。幸いにも、共通テストの成績で上位の私立大学に合格できましたが、合格できるだろうと思っていた私立大学の試験に苦戦し、不合格となることもありました。この体験から過去問演習の必要性を実感して、第一志望校の過去問を必死に解き、研究しました。過去問演習を通して時間配分や回答順序の計画を十分に立てたことで、本番でも実力を発揮することができました。

狭山ヶ丘の先生方のご指導と共に高みを目指した学友のおかげで、自信を持って本番に臨むことができました。その結果、塾に通わずとも東北大学に合格することができました。大学では、化学で世界を豊かにするエンジニアを目指して、より一層化学と研究に励んでいきたいと思っています。

東京外国語大学 入学

言語文化学部 言語文化学科 英語専攻

他に合格した主な大学
上智大学 外国語学部 英語学科
上智大学 文学部 英文学科



web 版は
個人情報保護の観点から
生徒氏名・顔写真は
掲載していません。

私は入学した頃から東京外国語大学を志望していました。英語は小さい頃からずっと勉強してきた、得意でもあり好きでもある教科でした。この三年間の中で何度も志望校の変更をしました。最終的には東京外国語大学を受験することにしました。私が一番不安を感じたのは共通テストです。過去問が少なく、どの問題集を頼れば良いのか不安でした。そのような時は先生に相談したり、進路室に行って問題集をコピーしたりして、直前期は詰め込みました。

私は得意教科で高得点を取って差をつけて、苦手教科の分を埋めるようにしました。英語では単語だけではなく、毎朝のリスニングや、ある程度の長さの文章を毎日読んだり音読したりして、本番で焦らずに速く正確に解く練習をしました。暗記科目と捉えられがちな地理歴史科目では、教科書を何度も読み込んで、時代の流れ、背景、他の出来事との関係などを自分で説明できるようにしました。資料集などを使って絵画や建物の写真なども何度も確認しました。苦手科目では基礎を大切にしました。難化するとされていた数学では、最低限の点数を取るために教科書や問題集の公式の説明を自分でできるようにしました。国語と理科は一番点数が安定しなかったため、問題演習と解答解説の読み込みを繰り返して行いました。漢字や古典の単語と文学史で絶対点数を落とさないように毎日参考書を読みました。

本番では少し失敗した部分もありましたが、なんとかボーダーラインに乗ることができました。私が一番後悔したのは、早くから大学の過去問に手をつけなかったことです。特に私立大学の過去問は共通テストが終わってから初めて本格的に解くのがほとんどでした。夏休みなどに過去問を見て傾向を掴んで、その傾向にあった問題集をたくさん解いておくべきだったと後悔しています。そのせいで一月後半から十分演習ができずにペースを乱してしまいました。

私がこの経験を通して皆さんにお伝えしたいことは、スケジュールをしっかり立てて、自分が今行うべきことをしっかりと自身で考えることです。また、何をすれば良いかわからない時は先生に相談するべきだと思います。受験はあっという間に終わります。時間を上手に使って絶対に後悔しない受験にしてほしいです。受験は全く簡単ではありませんでした。体調管理と周りで支えてくれた人への感謝を忘れずに、毎日努力して少しでもゴールに近づくように頑張ってください。